



# かがわ看護だより

116  
令和4年1月1日

令和4年1月1日現在 会員数  
7,643名

- 保健師 214名
- 助産師 292名
- 看護師 6,925名
- 准看護師 212名

(公社)香川県看護協会 〒769-0102 高松市国分寺町国分152-4  
 TEL: 087-864-9070 FAX: 087-864-9071  
<https://kagawa-kango.com>  
 発行責任者/安藤 幸代



みろく公園(さぬき市)のろう梅

## 《目次》

新年のご挨拶 .....	2	新型コロナウイルス感染症に関すること	
受章者のご紹介 .....	3	令和3年度支部合同研修及び交流会を開催して .....	6
新年の抱負 職能委員長の抱負 .....	3	「介護施設等における感染管理」研修・交流会を開催して...	7
支部長の抱負 .....	4	障害者支援施設フォローアップ研修を実施して .....	7
令和3年度長期研修を受講して		自宅療養等への訪問看護等支援について .....	7
認定看護管理者教育課程サードレベル .....	5	2023年度日本看護協会代議員・予備代議員への立候補並び	
認定看護管理者教育課程セカンドレベル .....	5	に推薦について/理事会報告/2022(令和4)年度会費納入	
香川県保健師助産師看護師実習指導者講習会 .....	5	について/お知らせ/編集後記 .....	8



# 新年のご挨拶

公益社団法人香川県看護協会

会長 安藤 幸代

新春のお慶びを申し上げます。

日頃から香川県看護協会の活動にご支援、ご指導を賜り厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染は第5波が落ち着き、ほっとしていた矢先、オミクロン株という新しい株の出現によりまた私たちの日常が脅かされ始めました。いつまで続くかわからない感染症と毎日闘っておられる看護職の方々に、感謝と敬意を申し上げます。

さて、医師の長時間にわたる労働時間を短縮し、良質かつ適切な医療を行うことができるよう「良質かつ適正な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法の一部を改正する法律」が2021年5月28日公布され、10月から一部施行されました。医師の働き方改革が2024年から実施されるのに伴い、放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士等に、医師の業務のうちその職種へシフトできる業務を定めました。各職種は国が定めた研修を受け実施することになっています。医師から看護職へのタスクシフトもありますが、看護管理者は、看護職にしわ寄せされないように法律で認められた業務を、施設内の多職種で話し合っていたいただきたいと思います。

また、岸田首相は、看護職の給料をアップすることを打ち出しました。今まで政府がこのようなことを打ち出すことはありませんでした。日本看護協会は、この波を留めることのないように各方面に看護職の実情を訴え、知っていただき要望を続けています。皆様方の応援が大きな力であり必須です。

香川県看護協会での研修や教育は、感染対策のため、オンライン研修を多く取り入れました。画面を通しての授業に参加し、意見交換をスムーズに行っている皆さんをみますとIT時代になったなあと感じると同時に、看護協会も時代に取り残されないように前進しなければならないと考えています。しかし、後半、コロナが落ち着き参集した皆さんの笑顔や話声を聞くと、人を対象にする看護職はやはり対面することが大事と考えずにはいられません。

長期間の研修は、認定看護管理者教育課程セカンドレベル（受講者37名）、開催を延期していたサードレベル（受講者29名）、実習指導者講習会（受講者47名）を実施し無事全員が終了できました。職場を離れ学習する受講生の顔は、緊張の中にもやる気に満ちており、講師から多くのことを学ぼうとされていました。受講生の努力はもちろんですが、派遣していただいた施設の方々への感謝も忘れないようお願いします。

最後に、残念ながら、香川県の新卒看護職の離職率は14.6%とまた、全国ワースト1になりそうです。看護職にとって働きやすくお互いを思いやれる職場環境を皆で作っていきましょう。

本年が皆さまにとって、幸せな年になりますようにお祈りしております。



おめでとうございます。長年のご活躍に敬意を表し  
心よりお祝い申し上げます

叙 勲

瑞宝単光章

前 国立大学法人香川大学医学部附属病院 副病院長兼看護部長 細川 克美 氏

## 新年の 抱負

明けましておめでとうございます。

昨年は、コロナ禍の中で、看護協会活動も思ったようにできませんでした。新年を迎え、「今年こそは！」と、新たな活動も考えながら取り組んでいただこうと職能委員長さんと支部長さん方に抱負を語っていただきました。

## 職能委員長の抱負

### 保健師職能委員会

委員長 三井 悦子

令和3年は、新型コロナウイルス感染症の大きな影響があり、保健師は、ピークの波がある災害ともいえる感染症対応に、大きな疲弊を伴いました。特に、様々な新たな業務に対して、組織横断的な働き方を推進していくことは簡単ではありませんでした。

保健師職能委員会においてもその煽りを受け、新任期保健師研修会は交流会として、2月に開催となりましたが、参加者の交流が十分に図れ、今この時期だからこそ思いを共有できる場にするすることで、新人教育に貢献できればと思います。

新たな年には、改めて新任期プログラムを構築し、後進保健師の人材育成に継続的に取り組んでいけるよう進めてまいります。



### 看護師職能委員会Ⅰ 病院領域

委員長 熊野 知恵



「働き方改革」、「タスクシフト」など、医療の現場は、2025年問題の一つである人材確保に向け大きな変革が求められています。令和3年10月から施行されている各職種の業務拡充や准看護師・看護補助者との協働の推進など、ダイバーシティにおいて、それぞれの職種の人たちとどれだけwin-winの関係を築くことができるかを考えていくことが、看護師職能委員会Ⅰ（病院領域）に期待されている課題だと考えています。病院での看護をこれまでのように限られたものだけが行う特別なものではなく、職種を超えお互いの違いを理解しながら働ける、魅力ある職場として捉えてもらえるよう、取り組んでまいります。

### 助産師職能委員会

委員長 竹内美由紀

令和3年はリモート開催での新人助産師研修のスタート、時短での委員会開催、周産期の現場も社会情勢に合わせてケア内容の制限が継続する中、最善のケアを求め情報交換・情報共有の機会を多く持った一年でした。不安の大きい母子に寄り添いたい思いから、産前産後のメンタルヘルスケアの研修会を実施、また、中四国地区合同ワークショップでの産後ケア事業の普及推進に向けての取り組み報告より、母子にとっての安全で安心な出産・子育ての体制整備の急務を共通認識し、多職種のネットワーク強化と支援者のコミュニケーションスキルの向上の必要性を感じました。令和4年は3職能が連携したケアの構築に向け前進したいと思いません。



### 看護師職能委員会Ⅱ 介護・福祉関係施設・在宅等領域

委員長 山西 育子



2025年の地域包括ケアシステム構築に向けて、最近の2年間は、新型コロナウイルス感染症の対応に苦労された病院やご施設もありました。この新興ウイルス感染症による貴重な経験を皆様で共有し今後に備えるために令和3年11月に、高齢者介護施設等で活躍された感染管理認定看護師の実体験に基づく感染対策管理についての研修を実施致しました。看取りケアについてはACPの具体的なスキルを学んでいただけるよう研修を企画し、交流会での意見交換を行いました。

オミクロン株感染拡大の可能性もあるなか、いまだできることを考えながら、この危機を乗り越えていけるよう委員会メンバーとともに努めてまいります。

## 支部長の抱負

### 【第4支部長 菊岡 純子】



新型コロナウイルス感染症の拡大・蔓延は、我々看護職の専門職としての真価が試され、その役割の重要性が実証されました。この2年間は、支部で企画していた感染対策に関する研修会も予定通り実施できない結果となりましたが、令和4年は、支部としての研修及び活動を通して全体のつながりを深めつつ、地域包括ケアシステムのネットワーク強化に続けていきたいと考えています。

### 【第3支部長 原淵美千代】



新型コロナウイルス感染症の流行が長期化する中でしたが、地域のネットワーク会議に定期的に参加することができました。その会議では、感染の収束の兆しが見えない住民の不安や長期の自粛生活による孤独感を軽減できるようにコロナ禍でできる地域活動を検討しています。そこで私たちは、地域の看護職として住民の健康や生活を守るためにも他職種と連携し、地域活動に参画できるよう取り組んでいこうと考えています。

### 【第2支部長 山田 寿美】



第2支部は、小豆医療圏地域包括ケア連絡会介護部会と地域包括ケアシステムの構築に向け共に活動をしています。しかしコロナ禍で、介護部会との話し合いが進まなかったのも現実です。今年も2年前から目標に掲げている、アドバンス・ケア・プランニングを広める活動を行っていきます。そのためには介護部会との連携は欠かせませんので、会議の方法などを工夫し多職種連携を強化していききたいと思います。引き続き意志決定支援におけるスキルアップ、看護職の役割強化、島民の方々のニーズに合った研修会などを企画していきます。

### 【第5支部長 福屋 純子】



コロナ禍となり2年が経ち、本来の看護ができないことへのジレンマも抱えておられると思います。このような時期であるからこそ、地域の看護職の皆さまとつながり、情報を共有・共感しながら看護職が元気でいられることが看護の質向上に繋がることと考えています。コロナは未知の状況ではありますが、令和4年も地域の看護職の皆さまと共有・共感できる場をつくり、現場の課題解決に役立つよう柔軟に取り組みたいです。

### 【第7支部長 森安 浩子】



地域包括ケアシステムにおける看護の機能強化を目指す支部活動ですが、2年間まちの保健室、支部総会の中止や方法を変更しての活動となりました。交流会も支部合同研修としての開催となりました。新型コロナウイルスの感染状況は予測できませんが、看護職が自施設の地域での役割を理解して、協力しあえるよう取り組んでいこうと考えています。

### 【第6支部長 井原 光枝】



昨年も新型コロナウイルス感染症の影響で支部活動ができませんでした。後半は地域連携ワールドカフェにて「ACP活用方法、事例検討」を開催する予定ですが、実現できればと考えているところです。令和4年こそ地域包括ケアシステムの構築に向け、第6支部でのつながりを強化すると共に地域住民への健康相談や地域連携懇親会の開催が実現できるよう計画的に取り組んで参りたいと考えています。

### 【第1支部長 中西 由美】



昨年同様、新型コロナウイルス感染症は、新たな株の出現など未だ終息する気配を見せていません。看護職への期待は益々高まる中で、Withコロナ時代に看護を必要とする人々に対して貢献できるよう、今後も地域を巻き込んで活動していく必要があります。引き続き、地域の看護職間のネットワークを強化しながら、アドバンスケアプランニングに関わる課題を探りながら、支部活動に取り組んでいきたいと思っています。



## 令和3年度 長期研修を受講して

### 認定看護管理者教育課程サードレベル

香川大学医学部附属病院 松賀 晴美

5月19日から11月15日までサードレベルを受講しました。

カリキュラムでは政策動向、ヘルスケアサービス、経営や財務、論理的思考など、その分野で多くの業績や見識を持たれる講師の先生方から学ぶことができました。講義の中で繰り返し聞かされたのは「トップマネージャーとして」という言葉でした。組織をデザインし運営していくために、ぶれない意思決定と実行力が必要であること、長期的視点でマーケティングを行い自施設の価値を見出すことなど、看護トップマネージャーとしての役割と責任を理解しました。

今後は研修での学びを活かし、看護理念の具現化に必要な組織化を行い、地域社会が求めるヘルスケアサービスを提供できるよう取り組んで参りたいと思います。



「よろしくお願いします」名刺交換風景

### 認定看護管理者教育課程セカンドレベル

三豊総合病院 伊東 早苗

ファーストレベルを受講してから10年が経ち、今年、セカンドレベルを受講する機会を頂きました。ファーストレベルは、主に看護管理の基礎となる内容でしたが、セカンドレベルでは、より看護管理者として実践に活かす変革理論や、論理的思考・概念化能力を養う内容に重点を置いたものでした。私はこの研修中に、講義での学びを現場に活かせる場面も経験し、意図して活用することの意義も学べたと実感することができました。

また、コロナ禍の影響で約5ヶ月はWeb研修、10月からは対面授業が開始となり、改めて「人との関わり」や「対話すること」の大切さを再認識する機会にもなりました。

師長になり2年目の私は、まだまだ看護管理に迷うことも多くあります。しかし、半年間、同じ受講生の皆さんと共に悩みを共有し、学び、実践計画に取り組んだことは、忘れられない大切な経験であり大きな学びになったと実感しています。

このセカンドレベルでの学びを今後の看護管理に活かしていきたいと思います。



閉講式後、ホッと一息 全員集合

### 香川県保健師助産師看護師実習指導者講習会

高松赤十字病院 山本 美緒

私たちは、看護教育における実習の意義や実習指導者としての役割を理解し、効果的な実習指導ができるよう必要な知識・技術・態度を習得するため参加しました。受講生47名で、日々学習しながらディスカッションを行い、お互い切磋琢磨しながら研修に臨みました。今年度よりeラーニングが導入され、コロナ禍での開催となったため、研修の前半はオンライン授業となりました。講師の方々から学生の実習指導や看護、教育についてなど様々な講義をうけて、実際に自分が指導者として経験してきたことを振り返り、答え合わせをしている感覚で、どの講習も興味深く受講することができました。また、受講生も様々な病院からの参加であり、同じ指導者として現場での状況や悩みなどを共有し、情報交換ができたことは貴重な経験となりました。今後、「看護学生とともに成長できる実習指導者」を目指すとともに、研修で学んだことを病院のスタッフと共有して、実習がよい学びの場となるよう貢献していきたいと思います。



実習指導案 発表の様子

# 新型コロナウイルス感染症に関すること

## 令和3年度支部合同研修及び交流会を開催して

12月11日に第1～3支部の会場と看護協会看護研修センターをオンラインで繋いだ研修及び交流会を開催しました。幸いに、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いていた時期であり、感染対策を実施しながら、講師の来県も叶い、152名参加しての開催となりました。

今回は、各支部からの要望の高かったコロナ禍におけるメンタルヘルス対策をテーマに和洋女子大学看護学部の准教授 寺岡征太郎先生から「コロナ禍における看護職のメンタルヘルスカエ」についてご講義をいただき、あと、支部毎に分かれて情報交換等行いました。

講師より、①看護職のメンタルヘルスには、セルフケアとラインケア（上司・管理監督者によるケア）が必要。今回のコロナ感染症の発生で、ラインケアを考える機会となった。この1年半の経験を看護の力に活かしてほしい。患者が何をしてほしいのか、何を考えているのかわかるのが



講師 寺岡征太郎氏

看護職である。組織に患者の思いをフィードバックしていくことで、看護職としてのアイデンティティを高めることができる。②最後に、「今回のコロナ感染症で経験したことや考え感じたことを言葉で伝え、共有することで、今後のケアの向上につながる。今は、スタッフ間のコミュニケーションをとる機会に制限があるが、体験を語り合うことが次につながる」とまとめていただきました。

今回の講義やグループワークでの情報交換等から、今後予想される第6波に向け、セルフケア、ラインによるケアなど、看護職のメンタルヘルスについて、今一度考える機会になればと考えています。

専務理事 田中 邦代



オンライン風景

### 【参加者の感想】

- ★コロナ禍でもできる事をやる！看護職のidentityを取り戻し元気でいられるコツを学んだ。
- ★看護職である講師の話す内容が、まさに現場で起こっていることであったため、身につまされる思いだった。特に、面会における家族との係りや終末期の看護など日ごろ看護職として大事に考えてきたことが制限されることで起こる倫理的ジレンマ、看護職としてのやりがいの喪失感が、看護職としてのアイデンティティへの揺らぎに大きく影響していることが分かった。
- ★メンタルヘルス対策として、まずはセルフケアが大事であるということは周知されているが、個々に任せるのではなく具体的な実践可能な方法を一緒に考えていくことが大事であると感じた。

講師資料より



会場風景（看護研修センター）

#### メンタルヘルスを支えるセルフケア

自分をケアし、周囲にもセルフケアを勧めることで、必要な人々へ対応し続けることができる

- ① 基本的なニーズを満たしましょう
- ② 休みをとりましょう
- ③ 同僚とつながりましょう
- ④ 建設的にコミュニケーションをとりましょう
- ⑤ 家族と連絡をとりましょう
- ⑥ 違いを尊重しましょう
- ⑦ 常に情報を更新しましょう
- ⑧ メディアを制限しましょう
- ⑨ セルフチェックしましょう
- ⑩ 自分の動きを褒めましょう

＜セルフケアのコツ＞  
具体的な小さな目標を立て、  
ほどほどの達成感を感じられる活動を！



和洋女子大学 看護学部 准教授 寺岡征太郎氏よりご提供いただいた資料より抜粋。資料名：「コロナ禍における看護職のメンタルヘルスカエ」

## 「介護施設等における感染管理」研修・交流会を開催して

看護師職能委員会Ⅱ 委員 佐藤 智子

医療体制が逼迫し、見えない恐怖に立ち向かいながら看護を提供していた時期を振り返ることができるくらい、感染状況は落ち着いてきています。県下の多床室を有する高齢者施設への防疫活動を行うのであれば、第6波を前提し今しかない、香川県立白鳥病院看護部長・感染管理認定看護師 林 珠美氏による研修・交流会を開催しました。

参加者は高齢者施設の管理者を対象にし、感染防止に向けた現状と課題を持ち参加していました。パンデミック時期には面会を中止しましたが、何時再開したらいいのか、スタッフの意識付けが難しいなど、施設管理者の苦悩がグループワークで意見として出ていました。講師に課題について対応策を聞き、打開できるとしてくれた管理者もいたと思います。

まだまだ感染防止対策についての課題は多く関心も高い。引き続き研修を計画していき、現状を改善する手助けになればと思っています。



講義風景



グループワークの様子

## 障害者支援施設フォローアップ研修を実施して

新型コロナウイルスが感染拡大した第5波の中、香川県から委託事業を受けました。それは、県内の障害者支援施設に感染管理認定看護師を派遣し、新型コロナウイルス感染対策の指導を行うというものでした。当協会から8～9月に14施設に13人の感染管理認定看護師を派遣し、現場での実施指導を行いました。

今回は、その指導を受け、障害者支援施設の感染対策の取り組み状況を12月11日報告していただきました。感染発生時の「ゾーニングのしかた」や「シミュレーションの実施」についての実践報告があり、ゾーニングの考え方、繰り返し実施するシミュレーションの必要性、クラスター発生時の人員確保のためのローテーションの有効性などを参加施設と共に共有することが出来ました。

障害者支援施設は、病院とは異なり、障害特性によりマスク着用が難しい、異食や認知の問題からアルコール消毒の設置や隔離が難しく感染対策にも困難さが伴うということを担当者としても知ることが出来ました。今後も協会として、障害者支援施設や福祉施設の感染対策に協力していきたいと思っています。

事務局 三原由紀美



講義風景

## 自宅療養等への訪問看護等支援について

2年にも及ぶ新型コロナウイルスの感染症は、第5波を経て、新規感染者が少ない状況が続き安堵していたところですが、新たな変異株「オミクロン株」への不安が高まっており、まだまだ予断を許さない状況が続いています。

県内関係機関では、今夏の第5波を教訓に、第6波に備えた、自宅療養者への支援体制についても検討がされています。

自宅療養者に対して、平常時から医師、薬剤師、訪問看護ステーションの看護師等で往診チームを編成し、情報交換やシミュレーション等行いながら、緊急時に備えるという体制づくりを行っています。

訪問看護ステーションの皆さん、関係者との顔の見える関係づくりや支援体制検討のメンバーとしては是非ご参加いただき、自宅療養者の安全・安心な療養支援にご協力をお願いいたします。ご協力いただける方は、香川県看護協会担当までご連絡を！

担当 田中 邦代

# 2023年度日本看護協会代議員・予備代議員への立候補並びに推薦について

## 選挙管理委員会・推薦委員会からのお知らせ

令和4年6月19日(日)に開催される定時総会において、2023年度日本看護協会代議員・予備代議員の選挙を実施します。立候補並びに推薦の受付期間などについてお知らせします。

なお、役員辞任に伴う追加公示はホームページで行います。

### ■改選人数と役職名

1. 代議員 7名 (保健師1名、助産師1名、看護師4名、准看護師1名)
2. 予備代議員 10名 (保健師2名、助産師2名、看護師4名、准看護師2名) ※人数は想定

### ■受付期間など

立候補される方は、会員10名以上の推薦(定款細則第7条1項)を受けて、届出用紙を選挙管理委員長あてに届け出てください(郵送可)。

推薦を行う場合は、所定の用紙に記入のうえ推薦委員長あてに届け出てください(郵送可)。届出用紙は香川県看護協会にお問い合わせください。

[送付先] 〒769-0102 香川県高松市国分寺町国分152-4

香川県看護協会選挙管理委員長宛(親展)または推薦委員長宛(親展)

[提出締切日] 令和4年1月20日(水) \*当日消印有効

## 理事会報告

第5回 令和3年12月4日(土) 9:00~11:20

### ●協議事項

1. 令和3年度第2四半期会計報告(案)、監査報告について(承認)
2. 香川県看護協会 令和4年度年間行事予定(会議のみ)(案)について(承認)
3. 令和4年度教育計画(案)について(承認)
4. 第37回香川県看護学会の開催方法及び広告の掲載(案)について(承認)
5. 「看護の日・看護週間」記念講演の講師(案)について(交渉することを承認)

## 2022(令和4)年度 会費納入について

日本看護協会から届いている「継続のお知らせ」に記載されている「会費納入方法」をご確認いただき、納入をお願いします。

口座振替	会費の第1回目の引落日は、令和4年1月27日(木)です。 口座振替依頼書に記入した口座の残高確認をお願いいたします。 なお、残高不足等で引落ができなかった場合は、後日、ご自宅へ届く「コンビニ払込用紙」で納入ください。
勤務先で取りまとめて納入(※)	勤務先の担当者様にご確認ください。 ご担当者様は日本看護協会が指定する「施設の専用口座」へお振込みください。
銀行振込・コンビニ収納(※)	「継続のお知らせ」に同封されている「振込・払込用紙」でお振込・支払いください。

(※)なるべく令和4年1月20日(木)までに納入ください。

## お知らせ

## 専門職能団体 看護協会への入会を!!!

研修会・行事等の変更・中止の場合は、ホームページに掲載いたします。

### 1 第37回香川県看護学会 (WEB開催)

日時: 令和4年1月30日(日)9:00~13:00  
テーマ: 創(Sou)~看護のレジリエンスが生きる力と希望を創り出す~

録画配信は  
2/10~2/18  
の予定です

### 2 香川県看護協会事業活動実践報告会

日時: 令和4年3月19日(土)9:30~12:30  
場所: 香川県看護協会 看護研修センター

### 3 令和4年度 香川県看護協会定時総会・職能合同交流集会、合同委員会の日程が決まりました。

定時総会・職能合同交流集会 6月19日(日)  
合同委員会 6月25日(土)

## 編集後記

2022年の干支「壬寅(みずのえとら)」は、「陽気を孕み、春の胎動を助く」、冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれることを表しているそうです。  
今までがんばってきたことが報われ花開く、そんな年になるとうれしいですね。

